

## 国際化学肥料ニュース (2013年9月)

### 肥料業界の2013年9月動態

- \* 速報： 10月2日 Mosaic社はアメリカミネソタ州に本部がある世界最大のりん酸肥料輸出連盟「PhosChem」が正式に解散すると発表した。PhosChemはMosaic社とカナダ Potash Corp社が北米りん安の輸出を協調するために39年前に設立した輸出連盟であり、北米りん酸塩産業の60%、世界のりん酸肥料貿易量10%を占める。2013年5月31日までの最新年間売上13億ドル。
  
- \* 8月末からカナダ Canpotexの代表団が中国を訪問し、今年下半期の塩化加里輸入契約について商談した。Canpotex側は塩化加里のCFR価格が上半期と同じく400ドル/トンと提案したが、中国側は350ドル/トンで応酬したようである。ロシア UralkaliがBPCから離脱したせいで、塩化加里の国際価格が下げ続けるので、交渉が長引きそうである。
  
- \* ベトナム税関の公表によれば、2013年1~8月、ベトナムが昨年同期より2.8%増の283万トン、総額10.8億ドルの化学肥料を輸入した。主な輸入先は中国で、輸入金額の43.2%を占める。
  
- \* 8月末、サウジアラビアはインドに3万トンDAPを輸出した。CFR価格425ドル/トンであった。
  
- \* ロシア UralkaliがBPCから脱退してから1ヶ月を経て、塩化加里の価格が下がり始めた。FOB価格について、カナダとイスラエルは約20~40ドル/トンを下げ、360~390ドル/トンになったことに対して、ロシアが330ドル/トンの安値を大手客先に提示したそうである。
  
- \* 9月5日、ベラルーシ大統領は法令に署名し、新たな加里肥料輸出企業を作り、ベラルーシの加里肥料輸出事業を独占的に行うことを許可した。新企業の名前はOAOベラルーシ加里(BPC)で、政府がすべての株式を持つ。現在BPCに勤める人員がそのまま新会社に移す。また、加里肥料の輸出を促進するため、9月1日から12月末までに塩化加里の輸出関税を免除する。

- \* インド政府は、ベラルーシ加里（Belaruskali）の20%株式を購入するためにベラルーシ政府と交渉していることを明らかにした。  
2012年秋、ベラルーシ大統領はベラルーシ加里の株式の一部をインド、中国、ヨーロッパ、アラブの企業に譲渡する用意があると表明した。但し、譲渡価格が高すぎで、交渉が破談したという経緯がある。
- \* ウォール・ストリート・ジャーナル紙9月16日のニュースによれば、ロシア Uralkali が BCP に再加盟することを検討しているが、結論が出ていないようである。
- \* アメリカ肥料研究所（TFI）のデータによれば、アメリカは8月のDAP生産量46.5万トン、昨年同期より7%減、販売量16%減の43.3万トン、在庫量49.6万トン。  
8月のMAP生産量11%増の42.9万トン、販売量14%減の36.4万トン、在庫量56.9万トンであった。
- \* ヨルダン APC が声明を発表し、塩化加里の販売不振で、大量の在庫を抱えているため、生産能力を20%まで大幅に引き下げる。APCの年間生産量が約250万トンで、平均で21万トン/月あったが、引き下げにより、4万トン/月にする。ただし、販売量に関しては変動しない。在庫量の削減状況に合わせて、生産量を引き上げることもあると述べる。  
ロシア Uralkali が BPC を離脱してから安値販売攻勢を展開し、生産コストが割高のイスラエル・ヨルダンは塩化加里の販売量が急落した。
- \* 9月末、ロシア Uralkali がベトナムに2.5万トン塩化加里を輸出した。価格はCFR370ドル/トンで、8月の平均価格より60ドル/トンも安くなった。

### 大手各社の営業業績

- \* 9月10日、ロシア Uralkali 社は上半期の業績を公表した。塩化加里販売量が17%減の430万トン、売上高8.76億ドル、純利益が53%減の3.97億ドル。輸出量の減少により、生産設備の平均稼働率が70%に落ちた。  
但し、BPC から脱退した7月30日から稼働率を100%に引き上げるように生産を加速し、下期の塩化加里生産量を600万トン前後に引き上げる計画。

### 肥料資源の探索と肥料プラント新規建設

- \* インド FCIL 社はインド石炭社（CIL）と石炭長期供給契約の覚書を交えた。FCIL 社は中止しているオリッサ州のアンモニア-尿素工場の建設を再開し、2017年に完成する予

定。当該工場は石炭のガス化を原料にして、アンモニアを合成し、生産能力 120 万トン尿素／年、総投資額 12.3 億ドル。CIL は 500 万トン石炭／年を供給する約束。

- \* オーストラリアの加里企業 Highfield Resources 社はスペイン Castillay Leon 州に探鉱している加里鉍脈の中間報告を公表した。当該加里鉍脈は鉍脈平均厚さ 7.5m、K<sub>2</sub>O 平均含有量 14.9%、K<sub>2</sub>O 含有量 23.6%と 20.2%の鉍脈厚さがそれぞれ 1.5m である。

## その他

- \* 7 月 30 日、Uralkali が BPC を脱退してから塩化加里輸出量が次第に増える。8 月の輸出量が 80 万トン、国境貿易だけで 15 万トンを中国に輸出した。
- \* ベラルーシ政府は Uralkali の大株主 Suleiman Kerimov 氏を指名手配した。罪は BPC 脱退に関して、職権乱用と不法行為があるという。Suleiman Kerimov 氏は Uralkali の株式 22%を持ち、その一部または全部を売却しようという噂がある。
- \* 9 月 24 日、中国系投資会社 CIC がロシア Uralkali 社株式 12.5%を取得したと発表した。CIC が持っている Uralkali 社の株式転換社債を株式に転換した形である。
- \* 国連貿易開発会議（UNCTAD）は 9 月 18 日に公表した「2013 年世界貿易と環境レポート」によれば、2011～2013 年の食用作物価格が 2003～2008 年の平均値より 80%も上昇した。また、1960 年代からの 40 年間、化学肥料施用量が 8 倍も増加した。また、発展途上国における外国資本による農地買収にかかった金額はこれらの国への国際援助総額の 5～10 倍にもなった。

現在、世界に約 10 億人が飢饉に遭い、さらに 10 億人が栄養不良状態に陥る。これは世界人口の 1/3 に占める。これらの飢饉または栄養不良に陥る人間は 70%以上が発展途上国の農家または農業従事者である。

これらの問題を解決するために、先進国と発展途上国は単一作物栽培から多種類作物栽培に方向転換し、化学肥料とその他添加物使用量を減らし、持続可能な農業システムを育成して、零細農家を支援して、地産地消に努力すると提案した。